

都市高速道路 中央環状品川線 大井地区トンネル工事

発注者：東京都建設局

施設所在地：東京都港区

見学日時：平成22年4月23日(金)

工事概要：

高速湾岸線に接続する大井ジャンクションの高架橋の一部とトンネルとなる区間(730m)の工事です。

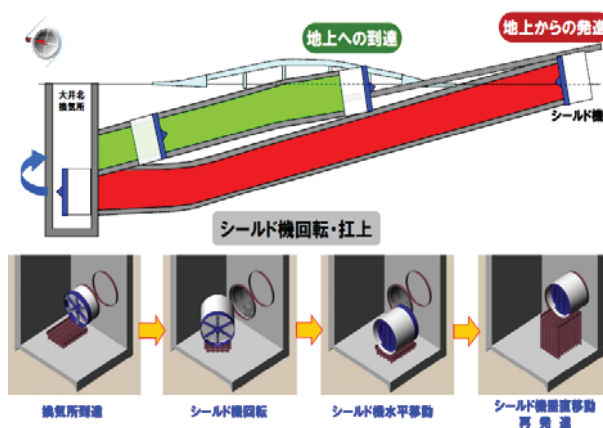
中央環状品川線は、中央環状新宿線・大橋ジャンクションまでの9.4kmを繋ぐ大プロジェクトです。その中で当工事も代表的な工事の一つです。

この工事は、世界初の最先端技術“ユーラップ工法”(URUP: Ultra Rapid Under Pass)が採用されているのが特長です。本工法は立坑が要らず、経済的な断面で急速な施工が可能な“環境に優しい”工法として脚光を浴びているシールド工法です。

耐火性に優れるワンパスセグメントという新しい継ぎ手のセグメントが採用されるなど、様々な所に目に見えない先端技術が隠れていて、国内の土木技術が、世界的にトップレベルにあります。

また、到達坑と逆方向への発進立坑となる換気所下部工事は、ニューマチックケーソン工法で同時に建設中ですが、見学時の底部掘削は、完全自動掘削が採用されており、無人化で施工していました。この換気所となる立坑にシールドマシンが到達してから、架台で受けた後、Uターン・扛上して逆向きに発進し、再び地上へ到達する予定となっています。(GEC ニュース第249号より抜粋)

追記：平成23年5月20日にこのシールド機は、地上へ到達しました。



発信立坑より

地上からの発進と地上への到達が実現！
換気所が到達立坑と発進立坑となる。図は㈱大林組提供